

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2021年2月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。2021年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年2月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「“夜の街”で生きる～歌舞伎町 試練の冬～」

1月30日放送 21:00～21:50 日本放送協会

コロナ禍が進行する過程で、ある時期から“夜の街”は最大の感染源というマイナスイメージで語られるようになった。この番組では歌舞伎町のバーやクラブを営む人々に密着した取材を続け、試練を乗り越えて暮らす人々の真摯な姿をリアルに伝えている。コロナ禍の下、普段は見えにくい“夜の街”の営みが説得力をもって見えてくる。

ドラマ 25「直ちゃんは小学三年生」

1月8日～2月13日放送 24:52～25:23 テレビ東京 ラインバック

大人が小3の子どもを演じるという面白さだけではない秀作。誰もが懐かしく感じる子ども時代のあれこれにクスッと笑わされながら、直ちゃんたちが生きている小さな世界で彼らなりに一生懸命考え、少しずつ世の中を学んでいく姿がなんとも言えず心を打つ。気づけば涙ぐまされる瞬間も多々。ぜひともシリーズ化してほしい。

ETV特集「夫婦別姓 “結婚”できないふたりの取材日記」

2月17日放送 24:00～25:00 日本放送協会 鐵磁石 NHKエデュケーショナル

夫婦別姓の問題を別姓のまま結婚をしたい当事者が描いた。あくまでも「選択性」であるにもかかわらず、なぜかそれを許容できない日本社会。まったく合理的説明をせず、ただ「愛情が足りない」「国からの恩恵を受けたいなら制度を受け入れろ」などと話す保守系政治家の言葉に日本の醜悪さが詰まっていた。

ストーリーズ ノーナレ「クイズ 最高の一問」

2月22日放送 22:45～23:15 日本放送協会

矢野了平と日高大介という現役屈指のクイズ作家の2人に「人生最高の一問とは？」という問題を与えることで、知られざるクイズ作家の生態や、2人のクイズ人生を同時に浮かび上がらせていくという切り口が出色。日本のドキュメンタリーでは珍しいスタイリッシュなセットなどを使った作り込んだ映像も新鮮でエンタメ性も秀でていた。

★詳細は月刊誌「GALAC」2021年5月号に掲載します